



真野和久 議員

## 地域の支援や活動に支所を活かせ

### 質問

支所での市民の相談は、どこまで対応できるのか。

### 総務部長

相談業務は本課へ移管するが、そこへ行ってくれというような考えは持っていない。柔軟に対応したい。

### 質問

総代や町内会の活動支援や行事の相談、道路の緊急修繕など、支所を中心としたまちづくりをどう考えているか。当初、地域振興課でやろうとしたことが大切ではないか。

### 総務部長

本課よりも先に支所に相談することが相当多くなると考える。運用開始に向け、再確認する必要がある。

一定範囲で、支所の裁量で機動的に対応できることがベストだ。ただし、予算や人員を再度考えることはない。各支所が対応できるか、運用に向けて検証し、進めていく必要がある。

### 質問

災害対策本部は、本庁舎周辺が浸水した場合、支所に置

かざるを得ない。バックアップを考える必要があるが。

また、佐織庁舎は、確定申告相談、高齢者の「おでかけサロン」、盆踊りの練習会などで使っている。もう一度利用方法を考えていくことは大事ではないか。

### 総務部長

今の時点で、どの地区を災対本部の第2施設と位置づけるかは整理できていない。

今まで活用してきた団体もあるが、それだけの収容能力しかないので、他の施設を活用してもらう必要がある。

### 質問

住民説明会の考えは。

### 市長

まず、パブリックコメントを周知し、市民の意見や提案を聞きたい。その内容を精査し判断したい。



## 子どもの医療費無料化拡大を早く

### 質問

中学生への助成を行わないのは、愛西市と江南市だけになる。平成26年度に向け検討したのか。あま市も苦勞しながら実施に向けて動いている。年度途中からでも実施しては。

### 市長

26年度予算について検討をしたが、今回は計上しないと決断した。他市よりもすぐれた子育て施策を多々行っている。一部負担も検討しながらやらなければならないと思う。

### 質問

病院で「愛西市は小6までなので、弥富市に引越そうか」という話が出る。ずっと住んでもらうためにも早期実施を求めるが。

### 市長

子ども医療費などいい事業は、できれば全てやっていきたい。今後も努力していきたい。